

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 名古屋市立工業高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒 454-0851
愛知県名古屋市中川区北江町三丁目 1 3

E-mail : kogyo-th@nagoya-c.ed.jp

Website : http://www.kogyo-th.nagoya-c.ed.jp/

児童生徒数：男子 668名 女子 40名 合計 708名
 児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校は、全国的にも加盟校が数少ない工業高等学校です。「『ものづくりはひとづくり』を通じての地域実践教育」をプロジェクトテーマにしています。「ものづくり」を通じて地域に関わるE S D活動を行っています。

〈従来から取り組んでいる内容〉

● 地域社会に開放した学校祭における製作物の展示

…学校祭の一般公開で、平成26年度は1,400人ほどの地域住民や保護者等に来校していただきました。目に見える形や手に触れられる形で、授業で生徒たちが取り組んだ製作物を提供しています。クラスの発表では、情報技術科2年生の生徒たちが主体となり、すべて手作りでプログラムを組み込んだパソコンゲームの製作「ゲームセンター1DX」が校内の最優秀賞を受賞しました。

● 社会福祉協議会にて車椅子のメンテナンス

…平成26年度も学期毎に、機械科を中心とした生徒たちが社会福祉協議会に赴きました。生徒たちは、高齢者や傷病者、身体的な障害をお持ちの方が使用している30台余りの車椅子を定期点検しました。ブレーキ調整やタイヤのムシ交換など、必要に応じて機器の修繕をし、日頃の授業で培った整備技術に加え、地域社会で様々な方が共生をする価値観を育むことも目的としています。

● 環境技術科による近隣保育園での出前授業

…平成26年度は、環境技術科の生徒たちが本校周辺の2つの保育園で化学の出前授業を実施しました。実験を通じて4~6歳くらいの子どもたちに、化学に興味・関心を持ってもらうことがおもなねらいです。あわせて牛乳パックをリサイクルした「紙すき体験」や廃油を再利用した「キャンドルづくり」など、資源の環境保全への意識を子どもたちに高めてもらうことも目的としています。アサガオを使って「酸性雨を理解する」ことにも挑戦しました。

〈平成25年度より、新たに取り組み始めた内容〉

○ 防災教育プロジェクト

…プロジェクトチーム（1年生10名、2年生7名）を組んで、防災・減災グッズの検討・製作、防災・減災の学習など様々な活動を行いました。昭和橋学区連絡協議会や名古屋ボランティアネットワーク、中川区役所等のお力をお借りし、防災講座の受講やHUG（避難所運営ゲーム）を体験し、防災意識を向上させ、家庭や地域の防災力を高めるための一歩を踏み出しました。

○ 教科横断的な取り組み

…教職員が各授業で「学校全体のテーマに関する内容」を扱う取り組みをしました。ねらいは①教科・科目ごとに専門化された知を、相互に関連させる力を生徒たちが身につけること。②現代の諸課題を多様な視点から深く学ぶ態度や行動力を育むことです。平成25・26年度

は「3. 11に学ぶ～防災や被災後の人とのつながり」を学校全体のテーマにしました。家庭科では「非常時を乗り切るアイデア」、地理歴史科では「チェルノブイリと福島」、環境技術科では「災害発生時の火事の対応（防火・消火）」など多くの教職員の協力で実施し、授業で生徒たちの積極的な反応や反響がありました。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）